



ウォーキングカンファレンスで患者の歩行を観察し、アドバイスする。「歩けない人を治療しているのに、歩く様子を医者がチェックしないというのはおかしいですから」と三輪副院長

三輪 道生 副院長
みわ・みちお

1989年、防衛医科大学卒業後、同整形外科入局。95年、国立塩原温泉病院。96年、日本整形外科学会認定整形外科専門医取得。同年、慶應義塾大学医学部整形外科入局。97年、清水市立病院医長。98年、国立栃木病院。99年、耀生会病院副院長。2004年、耀生会病院院長。10年、宇都宮記念病院副院長

毎日午前中に3~4件の手術を行う。この日の手術は除圧術、固定術の2つで1時間程度だった

驚異的な手術数を誇る総合整形外科医として 我慢できない腰痛に悩まされている人を全力で救う

2012年の1年間で
1200例を超す手術を行う

宇

都宮記念病院では、脊柱管狭窄症や椎間板ヘルニアなどの腰部疾患の手術を、

2012年1~12月の1年間で300例近く行っている。人工膝関節置換術311例、膝関節鏡189例などを加えると、手術実績は1200例を超える。全ての手術は三輪道生副院長が中心となって執刀する。

「あらゆる整形外科疾患の根治手術ができる総合整形外科医を目指して努力してきました。困っている患者さんをとにかく助けたいという、赤ひげのような医者になるのが目標です」。驚異的な手術数に支えられ、さまざまな整形外科疾患の治療経験の中で修羅場をくぐり抜けてきただけに、「今が一番技術的に成熟し、成功率も高いレベルにあると思います」とも。

短時間で低侵襲の
患者に優しい手術にこだわる

手術は短時間にこだわる。例えば、腰椎椎体間固定術 (PLIF) は通常5~8時間かかったりしますが、それを1時間程度で終わらせてしまう。通常3~4時間かかる人工膝の手術も30分程度と速い。しかも正確で結果も良いという。「手術は芸術作品をつくる感覚で行っています。最終的な出来上がりが頭の中にあるから速いのではないのでしょうか。手術時間が短ければ、バイ菌も入りやすく、腫れや痛みも出にくい。体への負担も大幅に減ります」

高齢だからとあきらめたり
腰痛が治ることを
知らない人がたくさんいる

患者とのコミュニケーションでは、

難しい医学用語ではなく、患者目線に立った言葉で説明するよう心がけている。どこが悪いか、手術が必要かどうか、その成功率はどれくらいかなど、家族も含めて的確に伝える。患者が何を求めているかをキャッチし、一緒になって頭を悩ませる。「腰痛の駆け込み寺として絶対治してみせるという信念でいつも臨んでいます。それが患者さんの信頼につながっているようです。問題は『いつやるか?』『誰にやってもらうか?』だと話すと、『今でしょ!』『三輪先生でしょ!』と即座に返ってきます。多くの方が我慢できない腰の痛みで悩まされています。なかには高齢だからとあきらめる人、腰の痛みが治ると知らない人がたくさんいますが、だからこそ全力で治し笑顔にしてあげたいですね」



医療法人 中山会 **宇都宮記念病院**

〒320-0811 栃木県宇都宮市大通り1-3-16
TEL.028-622-1991
<http://www.nakayamakai.com/>

JR宇都宮駅から至近距離。手術を受ける患者の約20%を県外が占める

診療科目：内科、消化器内科、循環器内科、内分泌代謝内科、神経内科、小児科、心療内科、消化器外科、大腸肛門外科、乳腺外科、脳神経外科、呼吸器外科、整形外科、救急科、歯科、歯科口腔外科、泌尿器科、眼科、皮膚科、形成外科、麻酔科（能登谷淳子）、リハビリテーション科
受付時間：月~金 8:30~11:45 / 13:30~17:30
土 8:00~12:30
休診日：日・祝・年末年始